

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	中京学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チュウキョウガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	経営学部
	担当教職員名・役職	神谷裕子・キャリア進路委員長
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	13
	受入企業等数	45
	受入企業等名	中津川市役所、株式会社コメリ、株式会社モビリティランド、東濃信用金庫、株式会社カインズ、サン電子株式会社、株式会社オークワ、株式会社ゲオ、株式会社Jアカデミア、株式会社アミーゴ、株式会社パロー、株式会社豊和、株式会社ほほえみ、スタジオアリス、株式会社ノリタケカンパニーリミテド、高山市役所、岡崎信用金庫、青山商事株式会社、日本事務器株式会社、株式会社エアスト、株式会社メディアシステム、株式会社名鉄レストラン、株式会社ニッショ、株式会社銀の森コーポレーション、株式会社買取王国、株式会社オークワ、株式会社マイナビ、クリーンサービス、ゲンキー株式会社、株式会社サッポロライオン、株式会社花月堂、SKY株式会社、クラブツーリズム株式会社、株式会社リビングハウスサンワード株式会社、株式会社ほほえみ、株式会社グッドスピード、株式会社出雲殿、バーソルキャリア株式会社、ルートイングループ、株式会社恵那金属製作所、夢コーポレーション株式会社、株式会社メーワ、株式会社エディオン、株式会社鈴与
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業と事前に打ち合わせを行い、学生の目的や希望を伝え、インターンシップのプログラムを作成していただく。また、本学の評価書に基づいた評価をしていただき指導していただく。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップは3年次を原則として、キャリア科目の社会人スキル科目として、事前事後学習とは別に休業期間に今年度は就業体験を計5日間以上として実施した。働く意味を知り、社会で有用な人材であり続けるために必要となる知識・技術を理解し、社会人としての基礎力の現状を正しく把握して就業意欲の向上に繋げ、自分が将来いきいきと働く姿を前向きにイメージできることを目的としている。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	大学から案内した企業には原則モニタリングを実施している。ただし、学生が一般公募で決めてきた企業には一部モニタリングできていない企業もある。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ参加の目的から、受入れ企業の主な業務・会社規模や営業範囲・求められる人物像、同業他社と比較してどんな特徴があるかなどを調べさせる。また電話のかけ方・挨拶からビジネスマナーを中心に講義している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ後に実習日誌とレポートを提出させ、それと企業からの評価書を基に面談を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	大学の教職員がインターンシップ中に視察を行い、企業担当者と面談し、実習内容と学生の取り組む姿勢等を確認し、学生にも指導している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習中の日誌と事後レポートと企業からの評価シートを基に面談を実施し意識付けを行っている。現在は評価基準の整備を行った新たな評価シートを作成している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実習期間計5日間以上(うちインターンシップ実習期間計5日間以上)
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学から案内した企業と一般公募で決めてきた企業を含め、最低1社2日間以上を含めることを条件に計5日間以上とした。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学の評価書を基にインターンシップ生の評価をしていただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.chukyogakuin-u.ac.jp/artis-cms/cms-files/20180928-204429-8208.pdf
問い合わせ先	大学等名	中京学院大学
	担当部署名	中津川学生支援部
	担当者役職名	就職担当
	担当者氏名	和田正志
	電話番号	0573-66-3121
	メールアドレス	w.masashi@chukyogakuin-u.ac.jp